画図

玉兄おり

お偏風

下

○入あし
○ひやうすべ
○おとろし
○ぬれ女
○ぐハごせ
○まくざうず
○ぬつへつほふ
○うわん

○せうけら
○わいら
○ぬり佛
○ぬらりひよん
○おうに
○赤しさ
○牛おに

○見越
みこし

○せうけら

○ひやうすべ

○わいら

○おとろし

○塗佛（ぬりぼとけ）

○
濡女
ぬれをんな

○ぬうりひよん

○元興寺（ぐハごぜ）

○
苧と
うん

○青坊主 あをばうず

○赤舌（あかした）

○ぬつへつほふ

○牛鬼（うしおに）

○うわん

詩ハ人心より物に感じて聲を發
すものとかや畫ハ無声の詩にて
うた形あるもて鼔ふしてみれと
くはよかゝく情をおこし感を催す
さゝ独も語りし山海經　吾朝に
元信の百鬼夜行なきも予これに
學びて法を盗み形くもよ帝筆紙汚さて

と花よ書林伊某需るに頻なるまゝそ
れなきにかたくるゝ桜木ゑりうつしぬ
くしろ我童蒙み弄ともなれかし
きのとみ末乃秋葉月於月窓
下石燕自跋

鳥山石燕豊房

校合門人　子興
　　　　　月沙

画圖百鬼夜行後編　近刻

彫工　町田助右衛門

江戸書林　前川六左衛門

本銀町三町目　前川弥兵衛

安永五丙申春

文化二乙丑年求板